



山形新聞 少女少女の声（5月8日より）

中学校1日1日を大切に

1年 設楽 実久

新型コロナウイルスが流行し、その影響で学校が休校になったり、卒業式が縮小になったりして、当たり前のように送っていた日々が、こんなにも幸せなことだったのかと気づかされました。このような大変な状況の中、中学校という新たなスタートラインに立った今、これから始まる中学校生活で頑張りたいことが3つあります。

1 つ目は、勉強と部活動に全力で励むことです。勉強では、小学校よりもさらに難しくなる分、授業を真剣に取り組むのはもちろん、自分で計画を立て自ら勉強するということも頑張っていきたいです。部活動では、始めはできないことばかりだと思いますが、先輩方をよく見て学んでいきたいです。そして、先輩方や仲間と共に協力し合うということを大切にしながら、精一杯頑張っていきたいです。

2 つ目は、自分の考えをしっかりもち、声に出すということです。委員会や学級での係活動、授業の時など様々な場面があります。とてもいい考えでも、声に出さないと相手には伝わりません。これからは、自分の考えを積極的に声に出して伝えていきたいです。

3 つ目は、誰にでもあいさつをするということです。中学生になって、あいさつをする機会が増えると思います。地域の方、先生、先輩、友達など人と人とのかかわりを大切に、その時に応じたあいさつをしていきたいと思います。

新型コロナウイルスが流行し、当たり前のように送っていた日々がどれだけ幸せなことだったのかに気づけたので、これからの中学校生活、1日1日を大切に過ごしていきたいです。

オンライン派？ アナログ派？

4月28日、神町中学校を会場に市内小中学校の先生方が集まり、「eライブラリ」に関する研修会が行われました。講師は、神町中学校の廣谷恭平先生でした。研修会を主催した東根市教育委員会では、『学力の保障という観点から、今年1年、神中で行っている「eライブラリ」を他の小中学校にも採り入れることにしました。学校が始まってからも、学校での授業と家庭学習をうまく関連づけて、効率的に学習が進められるように活用してほしいと思っています。「eライブラリ」が、家庭学習をがんばろうと思えるきっかけになってくれることを期待しています。』と話してくださいました。

一足早く活用している神中生の皆さん、上手に使っていますか？ 「eライブラリ」だとやる気がでると言う人もいれば、学校から配られた紙の問題の方が合っているという人もいるでしょう。あまりにも休校期間が長く、逆に与えられる情報が多くなりすぎて困っている人もでてきているようです。大事なことは、自分に合った勉強方法を見つけることです。あなたは「オンライン派」ですか？ 「アナログ派」ですか？

